

利用承認申請書の提出について

茨城県中性子ビームラインのご利用にあたり、下記の事項にご留意の上、「利用承認申請書」及び「MLF 承諾書」を提出して下さい。

1 提出方法

以下の URL から「いばらき電子申請・届出サービス」にアクセス頂き、採択通知時にお知らせした期日までにご提出ください。

https://s-kantan.jp/pref-ibaraki-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=11363

2 利用承認申請書について

(1) 「利用申請者（代表者）」は、貴所属機関の代表者、又は実験責任者が所属する組織の長の方となります。原則、実験責任者が申請者となることはできませんのでご注意ください。

また、有償利用の場合は、この申請者が利用料金の請求先となりますのでご承知願います。

(2) 所要時間数には、採択された時間数を記入してください。

3 MLF 承諾書について

(1) MLF 承諾書は、実験責任者および共同実験者（MLF 施設に入所する方）全員分を提出してください。後日、実験に参加する方が増えた場合には、速やかに提出して下さい。

(2) 「放射線管理区域立入の有無」欄は、「有」を○で囲み、立入場所には BL03（生命）または BL20（材料）と記入してください。

(3) MLF 内で実験するには、放射線業務従事者教育訓練の受講および特殊健康診断の受診が必要です。お済みでない方はお早目に準備をお願いいたします。

(4) メールインサービスをご利用の場合は、MLF 承諾書の提出は不要となります。利用承認申請書のみ提出して下さい。

4 今後のお手続きについて

(1) 別添の「J-PARC センターユーザーズオフィスからのお知らせ（茨城県採択課題ユーザー向け）」をご覧ください、J-PARC 利用者支援システムにより実験手続きを行って下さい。

利用承認申請書の提出がない場合には、システムによる手続きができません。利用承認申請書は指定された日までに必ず提出して下さい。

(2) 実験日の日程調整については、担当装置責任者から E-mail にてご連絡させていただきまします。その際に、都合のいい日をお知らせ下さい。

(3) 成果専有課題を実験予定の方は、次ページの留意事項をご覧ください。

<お問い合わせ・提出先>

茨城県中性子利用窓口（茨城県事務室）

029（352）3301

茨城県那珂郡東海村白方162-1

いばらき量子ビーム研究センター

成果専有課題の実施における留意事項

茨城県中性子ビームライン成果専有型課題の利用にあたり、下記の事項に留意のうえお手続きをお願い致します。

1 利用料金のお支払いについて

茨城県中性子ビームラインを成果専有型で利用した場合、茨城県分の利用料金に加え、J-PARC 分の利用料金が発生します。利用料金のお支払方法は、茨城県分の料金は「茨城県発行の納入通知書」により、J-PARC 分の料金は「日本原子力研究開発機構発行の請求書」によりお支払いいただきます。

2 入構手続き、放射線管理区域立ち入り手続き等について

J-PARC の利用にあたりましては、J-PARC ユーザーズオフィスの「利用者支援システム」により以下の手続きを行っていただく必要があります。事務手続きの流れは成果公開型課題の利用と原則として同じ扱いとなりますが、情報管理を徹底いたしますのでご安心ください。

＜利用者支援システムによる事務手続き＞

- ・ 入構申し込み（個人ごと）
- ・ 試料および薬品等の持ち込み申請
- ・ J-PARC 認定登録依頼書の作成
- ・ ビーム使用報告書の提出
- ・ J-PARC 安全教育の受講予約

3 試料の持ち帰りについて

実験により放射化した試料は、J-PARC MLF の方針により施設から持ち出すことはできません。持ち出しが可能となるまで、MLF 内で厳重に保管いたします。

4 測定データの消去について

測定した生データ及び一次処理データについては、ビームライン内の装置に保存されます。厳重に保管いたしますが、データの消去を希望される場合は測定時に消去希望時期を装置グループ担当者にお知らせください。

5 知的財産権について

実験時に装置グループの担当者が特別な支援をすることにより、知的財産権が発生する可能性があります。その場合、支援内容に関するメモを取り交わしていただくことがありますのでご承知願います。なお、あらかじめ知的財産権が発生しない一般的な支援に限定することもできますので、その場合は測定前に装置グループ担当者にお知らせください。

6 他ユーザーとの遭遇回避について

実験の前後に時間を確保することにより、利用するビームラインの他のユーザーとのビームライン内での遭遇を回避することができます。（延長分については利用料金が発生します。）ただし、MLF 内の他のビームラインのユーザーとの遭遇回避措置はできません。

7 成果に関するリスクについて

試料の性質等により、期待されるデータが取得できない可能性もありますので予めご了承ください。